

第2回 丹波市丹（まごころ）の里創生総合戦略推進委員会

委員からの意見

プロジェクト1

- ・ハッピーバースパックについて、喜ばれるものになるように検証が必要。意見を聞き、バージョンアップしていくとよい。健診に行くためのタクシーチケットなど、丹波市の事情ならではの助かるものなどが喜ばれるのでは。妊娠期の相談窓口に行けばもらえるというような仕組みにすると施策として充実する。
- ・産後ケアのための宿泊施設の整備なども考えられるのでは。
- ・若者に「帰ってこいよ」と言えるまちづくりに向けて、寄附の募集に止まらず、テレワークができる環境整備を企業と共につくり、さらには若者や子育て世代が集える遊び空間を創造していけば若者の定住が増えるのでは。
- ・地元に戻ろうと思うのは、何か状況に変化があったとき。そのあと押しとなるのが、同級生や先輩の成功事例。市内高校の卒業生に向け、地元で暮らす人たちの成功事例の情報を発信していくことが有効であると考え。
- ・育休を取った家族を受け入れる宿泊施設を整備し、移住体験をしてもらうことも可能かと考える。
- ・企業版ふるさと納税について、コロナ禍で企業も厳しい状況。企業の賛同が得られるように考えていくべきである。

プロジェクト2

- ・公園整備について、良い取組であると考え。計画の前倒しを期待する。
- ・公園整備は子育て世代のニーズが高い課題であるので、必要である。小さな公園や空き地等を活用した公園の整備は、自治協議会や自治会で行い、実施する組織に支援していく方法は検討できないか。また、公園は幅広い年代の方に親しまれるべきであると考え。公園をマネジメントする人材を確保できないか。
- ・公園整備計画について、身近な公園ニーズにはあまり応えていないように思う。廃校などは活用できないか。雨天時に子どもを遊ばせられる施設整備が有効であると考え。

プロジェクト3

- ・とても良い取組みだと思う。
- ・育児のために会社を休むことのできる環境づくりや男性の子育て参加に積極的な企業を表彰することも有効と考える。